

国内クレジット認証委員会御中

添付資料 4 : 実績確認概要書

実績確認概要書

平成 23 年 02 月 08 日

審査機関名 日本検査キューエイ株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	ボイラーの効率化と天然ガス化による温室効果ガス削減事業
承認番号	JCDM-PJ0029
排出削減事業者名	アルバック成膜株式会社
排出削減共同実施事業者名	株式会社三井住友銀行 三井住友ファイナンス&リース株式会社 (その他関連事業者：株式会社サイサン)
事業実施場所	アルバック成膜株式会社本社・工場(埼玉県秩父市寺尾 2804 番地)
事業の概要	ガスボイラー(高効率)への設備更新と A 重油から天然ガスへの燃料転換により二酸化炭素排出量を削減する
排出削減量の計画	784 t CO ₂ /年(事業実施期間合計 3,321tCO ₂)
国内クレジット認証期間	開始日 2009 年 01 月 05 日 終了予定日 2013 年 03 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2010 年 01 月 01 日～ 2010 年 12 月 31 日(第 3 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	761 t CO ₂ (2010年01月01日～ 2010年12月31日)
--------------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	1) 開始日の確認 前回（第2回）の対象期間（2009年04月01日～12月31日）以後の対象期間（2010年01月01日から）であることを確認した。 2) 対象期間中の設備稼働確認 本実績報告期間（2010年01月01日～ 2010年12月31日）において、該当設備が稼働・運用されていることを、ボイラー日誌、及びLNG納品書兼請求書により確認した。 その他、本事業の排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 LNGの使用量は、承認された事業計画に従って、燃料供給事業者の「納品書兼請求書」に基づき把握されていた。 2) 活動量の正確性 本削減事業において活動量・原単位指標は用いていない。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 国内クレジット制度、「排出削減方法論について」の別表（修正日：平成23年01月27日）のデフォルト値採用を確認。 4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 排出削減量は承認された事業計画に従って算定されており、算定結果も正確であることを確認した。また、算定においても本事業の排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
算定期間が2013年3月31日を超えないこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 算定期間は、2010年12月31日までであり、2013年03月31日を超えていない。

5. 特記事項

特に無し。

以上